

# AREA 6

E-10

難波能野神社  
なにわくまのじんじや



古今集「難波津に 咲くやこの花冬ごもり 今は春べと 咲くやこの花」で読まれた「難波の梅」の場所はこのあたりと伝えられます。3月第一日曜日の梅まつりでは、境内や近くの梅ノ木公園の梅が鮮やかです。  
【子孫繁栄】【家内安全】

F-10

難波八幡神社  
なにわはちまんじんじや



なにわのはちまんさん、と呼ばれ、お祭りがさかんな神社として地域に親しまれます。10月14・15日の秋祭りで境内に組まれる舞台では歌や踊りで賑わいます。本殿は1688年創建で市の文化財に指定されています。  
【厄除け】【子孫繁栄】

D-10

たけや竹谷



竹谷という地名は1833年の史料に登場するこの周辺の地主、竹谷氏に由来すると考えられます。尼崎藩は海岸部を干拓した新たな田を開発。開発者の名をとって「平左衛門新田」「竹谷新田」などと命名しました。新田地帯は尼芋という名産物のサツマイモも栽培されました。

F-11

尼崎戎神社  
あまがさきえびすじんじや



17mの大鳥居がそびえ立つ尼のえべっさん。商売繁盛の神様、えびす様をおまつりするこの神社は醍醐天皇時代以前の創設と伝えられます。地元の商売人や金運上昇を願う参拝者にご利益があると言われ、お買い物の間際にしばし気分を変えてご参拝を。  
【商売繁盛】【家内安全】

F-11

櫻井神社  
さくらいじんじや



尼崎城最後の城主、櫻井忠興が城内に建立した神社。西南戦争で敵味方わけ隔てなく戦傷者を救護したことから世界赤十字社に認められ、日本赤十字社の誕生に至ります。境内に多く植わる桜は、春の景色として彩り、観る人の心を和ませます。  
【病気平癒】【芸能武芸上達】

F-12

なかざいけ中在家



尼崎城の西にあったこの地には、漁民や生魚問屋など多く住み、近海や西国からここに入荷した魚が、大坂・京都にまで出荷されるなど、生魚取引の中心地でした。尼崎の商店街などに蒲鉾のお店が数多くあるゆえんです。

E-11

貴布禰神社  
きふねじんじや



京都の貴船神社と同じ「水の神様」です。尼崎城主の崇敬が篤く、代々祈願所を務めた由緒ある神社。8月1・2日に行われる「貴布禰だんじりまつり」での、二台のだんじりが正面からぶつかり合う「山合わせ」が有名です。  
【心願成就】【えんむすび】

G-13

つるまち鶴町



昭和初期に埋め立て工業用地と港を築造した浅野財閥「尼崎築港会社」の希望で、同社の埋立事業発祥の地、京浜工業地帯の鶴見の鶴を活かしたいとの案が由来です。鶴町から橋を渡るとバナソニックプラズマディスプレイ工場が見渡せます。

## お立ち寄り



尼信博物館



藩主櫻井松平家ゆかりの太刀(重文)や世界のコイン等を展示。入館無料。  
06-6413-1121

世界の貯金箱博物館



世界62カ国13,000点の貯金箱を集めた全国でも珍しい博物館。入館無料。  
06-6413-1163

メイドインニ崎  
ショップ三和店



ニ崎を代表する逸品を選ぶコンペで認証されたニならではの商品どっさり。お土産に。  
06-6412-2086  
阪神尼崎駅高架下「ニセン」にも店舗あり。

中央三和出屋敷商店街



東西は阪神尼崎から出屋敷、南北は阪神電車から国道2号線の間約600店が軒を連ねる、阪神地区最大の商店街。商店街と寺町をつなぐ「七福神巡り」とお買い物。

寺町



F-11

江戸初期の尼崎城築城時に街の寺院を集め作られた地区。当時の風景を今に伝える。毎月第二土曜日にボランティア・ガイドあり。  
(詳細は市HP)

文化財収蔵庫



G-12

06-6489-9801

尼崎城跡に建ち、弥生時代から現代まで尼崎の歴史を伝える遺跡や資料を展示。旧尼崎発電所のタービンは圧巻。

尼崎スポーツの森



A-14

06-6412-1655

夏はウォーターパーク、冬はスケートリンク、さらにはフットサルコートに温水プールを備えた施設。森のコンビニもあり。